

地区広報 芸術の森

第30号

平成26年11月30日

発行 地区広報・芸術の森
編集委員会

印刷 (株) 辻孔版社

題字 平澤 博



芸術の森地区連合会は明年で20周年を迎えます

— 真駒内川の改修工事も進み被害を回避、文化祭の開催は第20回に —

芸術の森地区連合会 会長 関 口 明

日増しに寒さが厳しくなって参りましたが皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、常日頃連合会の諸行事にご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。芸術文化の季節を迎える当地区の文化祭、音楽祭及び芸能祭も本番を迎えます。ここでは、近況と現在検討中の周年行事について取り上げたいと思います。

◆真駒内川は豪雨被害を回避

昭和56年の大水害時には、2日間で290mmの豪雨があり当河川の氾濫で流域に大きな被害をもたらしましたが、本年9月10日深夜から11日朝方にかけて短時間で291mmの豪雨に見舞われました。しかし改修工事も進んでいたこともあり氾濫は免れました。被害としては

小河川の氾濫と全域で小規模の土砂崩れがありました。

◆芸術の森地区文化祭は第20回を迎えました

平成24年に札幌市芸術の森のご配慮により開催場所を工芸館に移しました。以来出展数が800点と各団体、サークルを主体に大幅に増加しました。

芸術の森の裾野を広げるためにも継続に努めて参りたいと思います。

◆芸術の森地区連合会20周年記念事業の検討経過

当地区も平成7年に石山地区町内会連合会より分かれて間もなく20年になります。今のところ①記念式典を簡素化の方向で、②記念誌の発行、③桜の記念植樹及びコスモスの植栽、④山女魚の放流などを検討しています。



「安心して暮らせる街づくり」へ

芸術の森地区社会福祉協議会 会長 堀川 昭八

皆様には、日頃から地区社会福祉協議会事業について、格別のご理解ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

平成26年も早師走が目前、隔てなく年度事業等の“総括期”が迫っておりますが、お陰様で当協議会はこれまで、計画された諸事業について、滞りなく進めさせておりすること、重ねてお礼を申し上げます。

今年は、全地球的な異常気象が叫ばれる中、道内でも相次ぐ台風襲来等で豪雨に見舞われ、“避難行動”を身近なこととしたことから、「自助」はもちろん、特に「共助」の大切さを感じられた方も多かったのではないかろうかと思います。

10月に入って間もない頃から“天気予報”に「雪」

の文字を聞くようになりました。そういえば去年は確か、10月16日が初雪でしたので、この広報がお手元に届く頃はおそらく何回かは……。どうぞ風邪など召さぬようお過ごしください。

まずは、今後とも「安心して暮らすことができる街づくり」へ向け、「見守り」を主眼とする“福祉除雪”を含む諸活動への、益々のご理解ご協力をお願いして、挨拶といたします。





活動真っ盛り!!

地域の皆様方には日頃育成委員会の活動にご理解とご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、26年度も終盤にさしかかり委員会の活動もピークを迎えていきます。

ここで、26年度10月現在までの活動報告をさせて頂きます。

- | | |
|-------|---|
| 7月26日 | 小学生サマーレクリエーション（藤野野外スポーツ交流施設） |
| 8月 | 盆踊り他祭事パトロール |
| 9月 | 北海道青少年育成大会参加、常盤神社お祭りパトロール、南区育成委員施設見学会参加 |
| 10月 | 南区育成委員会全体研修会参加、育成活性化研究会参加 |

芸術の森地区青少年育成委員会 会長 前 口 敦 司

間もなく11月16日の南区少年少女親善スポーツ大会参加（ドッジボール）のために、駒岡、石山東、常盤の小学生70名以上の選手が連覇を目指し猛練習を開始します。

これから年末年始にかけて交流もちつき大会、小学生スキー教室と大きなイベントがまだまだあります。各イベントの際には大勢の参加お待ちしています。

私たち育成委員は地域の皆様とともに子供達を取り巻くいろいろな環境に気を配りながら啓発活動や心の豊かさを育てていく活動を目指しています。

残りの活動も地域の方々に支えられていることに感謝しながら頑張ります。



平成26年9月10日からの大雨による被害状況等について

防犯防災部長 山 本 悟

道央圏では、平成26年年9月10日夕方から11日未明にかけ、低気圧の通過に伴う集中豪雨に見舞われました。札幌市では、土砂災害や洪水の危険性が高まったとして、11日3時10分、南区の芸術の森、石山、藤野、簾舞地区を始めとして、最終的に人口の4割に相当する35万世帯70万人を対象に避難勧告が出されました。また、札幌気象台も数十年に一度の大雨の恐れがあるとして、11日5時35分初めての「大雨特別警報」を発表し警戒を呼びかけました。

当地区の状況は、開発局設置（常盤・中の沢川地区）の観測データによれば、10日19時から11日7時までの12時間雨量は291mm、最大時間雨量62mm/hを記録し、小学校など避難場所へのべ112名が避難しました。昭

和56年8月の水害発生時は、2日間で290mmの雨量（札幌気象台）を記録しましたが、今回はわずか半日で同規模の集中豪雨に見舞われたにも関わらず、人的被害はなく小規模な浸水や土砂崩れがあったものの大きな物的被害の発生はありませんでした。真駒内川の改修工事がほぼ終盤に近づいていたことも幸いしたものと考えられます。



濁流となった真駒内川

= 9月11日、常盤1号橋から下流方向

「学校規模適正化」について

札幌市教育委員会では、石山・芸術の森地区の小学校（石山、石山南、常盤、石山東の各小学校）の児童数が減少して、特に石山小学校と石山東小学校は1学年1学級になっているため、学校規模適正化を提案して、平成25年3月から地域・学校単位で説明会を行ってきました。これは4校を2校に統合することで、各学年を複数学級にして子供たちにより良い教育環境を提供していくということです。（1.人間関係では、クラス替えができる人数に。2.教

育活動では、集団を前提とした授業や活動。3.学校運営では、教育研究や指導の充実が図れる。また、PTA活動等保護者の負担を軽減できる。）

どのような統合形態でも、学校までの通学距離が2kmを超える児童が出て、バス通学になる子供ができます。小学校は地域の拠点になっていることから、地域でも無関心でいられず、今後も話合いに臨んでいきます。

（文責 島田 三千春）

●交通安全部●

交通事故のない町づくり

報 告

1. 芸術の森地区夏の交通安全運動「街頭啓発」

7月18日(金)に常盤小学校前の国道において、街頭啓発が常盤小学校6年生児童・先生と地域住民の皆様の参加により実施されました。当日は南区長や南警察署長など多くの来賓の方々にもお忙しい中、参加いただきありがとうございました。

また、コンサドーレのマスコット「ドーレ君」や白バイも駆けつけてくれて子供たちは大喜びでした。

2. 芸術の森地区秋の交通安全運動「街頭啓発」

9月30日(火)に芸術の森地区会館前の国道において、街頭啓発が多くの地域住民の皆様の参加により実施されました。当日は雨が心配されましたが街頭啓発の間はなんとか持ちこたえ、終了と同時に雨が降り出しました。これも皆様の日頃の精進の賜物と感謝いたします。

交通安全部長 金子 侑

お願い

「地域」「職場」「家庭」全ての場所で飲酒運転を根絶させましょう

誤った仲間意識によって「見て見ぬふり」をすることは、いずれ大きな事故につながります。

家族間や親しい仲間だからこそ、悪いことは「悪い」、ダメなことは「ダメ」と注意して、飲酒をした後にハンドルを握らない、握らせない環境を作り上げましょう。



●環境衛生部●

生ごみの減量作戦

今年度から、芸術の森地区連合会の環境衛生部の職責を拝命して半年。

最初の仕事が、「南区クリーンさっぽろ」の環境美化（ごみのポイ捨て）の啓蒙活動でした。各連町の代表者は大半がベテラン揃い、そんな中の全体挨拶には苦労しました。

以後は南清掃事務所へ行ってご指導を受けたり、まちセンの富樫所長よりアドバイスを受けたりと苦戦の連続でした。これも良き経験と、今は述懐しております。

今年も6月4日に不法投棄の撲滅のための鳥居の設置（10ヶ所）と、監視活動を兼ねてまちセンの協力を得て実施しました。8月6日に南区クリーンさっぽろの報告を兼ねて第1回目の環境衛生部の会議を開催し

環境衛生部長 鈴木 久夫

ました。（南清掃事務所の大江所長出席）

8月22日には鳥居設置後の巡回活動（5名参加）。

半年間の活動の中で特に感じたことは、家庭から出る生ごみの減量化。早速9月18日に女性部と共に「ゴミを減らすといいことは」の研修会を行いました。（生ゴミの80%は水）研修で受けた知識を各町内会へ持ち帰り、実践と啓蒙活動を開始。芸術の森地区より「生ごみの水切り減量作戦」を、まず、魁より始めようと考えている次第です。

入所サービス
ショートステイ

みなさまの想いにおこたえいたします

医療法人 愛全会
介護老人保健施設
〒005-0849 札幌市南区石山837-47



0120
FreeDial

みんな しあわせ
365日
0120-348-365

通所リハビリテーション
介護予防通所リハビリ

●女性部研修会・交通安全母の会●

道端でかわす挨拶・笑顔が元気の源ですね

芸術の森地区連合会女性部長・同交通安全母の会会長

三上 良子

春に新メンバーでスタートし、きめ細やかな女性ならではの視点での活動は、地域の活動に欠かせない存在となっていると思います。

7月24日の花の牧場（えこりん村）、札幌場外市場の研修見学をはじめとし、7・8月は各町内会での行事に多くかかわりました。

9月18日には環境衛生部との合同研修を実施し「ゴミを減らすといいことは？」をテーマに札幌市環境局環境事業部南清掃事務所長大江卓氏の講演を聞き、改めて生活の見直しの重要性を学びました。

10月28日には防犯防災部との合同研修「消費者被害に合わないために」を聞き、悪徳商法の被害に合わないために、最近の事例をもとに勉強をしました。札幌

市消費者センター講師山口博美氏の話は、いかに巧みにだますのかと思うと身の引きしまる思いでした。

交通安全への啓発活動は、7月18日の常盤小学校前の啓発を含め、4回の実施となりました。多くの方々の参加、ありがとうございます。

高齢の方への
キーホルダーの
プレゼントは、
今年は見晴町内
会でした。夜行
反射板になって
います。ご利用
ください。



講演会の様子

第19回芸術の森地区音楽祭開催



札幌市立常盤小学校スクールバンド Big Trees



札幌市立石山東小学校



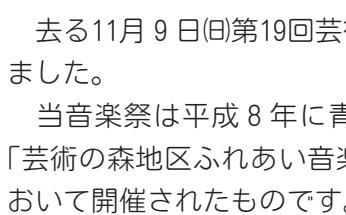
邦楽アンサンブル “白雪”



西岡 祐美子



札幌市立常盤中学校吹奏楽部



The K party orchestra



札幌ジュニアジャズスクール Club SJF

去る11月9日(日)第19回芸術の森地区音楽祭が開催されました。

当音楽祭は平成8年に青少年健全育成の一つとして「芸術の森地区ふれあい音楽祭」の名称で常盤中学校において開催されたものです。平成11年には芸術の森地区連合会が主催者に加わり、平成12年の第5回からは札幌芸術の森アートホールをお借りして「芸術の森地区音楽祭」として地域の人達が参加する音楽祭に発展してきました。

家族、友だち、地域の方々が一同に会し、秋色に染まる千紫万紅の音色に耳を傾けたひと時でした。



コラル・ラ・フォレ



札幌市立常盤中学校 3年生



札幌市立常盤中学校 2年生



札幌市立常盤中学校 1年生、4組

第20回芸術の森地区 文化祭

今年は、「芸術の森地区文化祭」をはじめてから、20回目を迎えました。この間、たくさんの作品の出展者、多くの来場者の方々に支えられて発展してきました。第18回から「芸術の森の工芸館」に会場を移してからは、作品数、来場者数も格段に増え盛況を博しています。関係者の皆さん、地域の皆さんに感謝を申し上げます。

今年は11月8日(土)~9日(日)に行い、天気にも恵まれて来場された方にも好評をいただきました。作品は650点にのぼり、来場された方は750人程でした。ありがとうございました。
(文責 芸術文化部長 島田 三千春)



福祉推進員研修会

7月29日に実施されました平成26年度福祉推進員研修会は、福祉の専門機関である南区保健福祉課、第1地域包括支援センター、介護予防センターとの連携・協力の在り方等を深めるための研修会として実施しました。参加は10町内から49名の参加を頂きました。

南区保健福祉課からは、次のようなお話をありました。



もりの仲間のさわやかクラブ

高齢者支援部長 永川 陽子

昨年に続き、今年も南老人福祉センターのご協力を頂き、8月29日(金)開催することができました。芸術の森地区にある13町内会全体を対象にした行事で、今回115名の参加がありました。

各町内の福祉推進委員や福祉部の方々のお手伝いや介護予防センターほかの多くの方々のご協力により、血流測定や骨密度測定もすることができ、充実した「健康フェア」になりました。測定結果に一喜一憂し、データを比較したり結果にちょっと心配だった人は、相談コーナーを利用してきました。アンケートの結果でも「楽しかった」や「また参加したい」などの声が多くあり、うれしい結果となりました。反省会では、活発な意見がでて、もっとより良いものになると思います。

この事業は、赤い羽根共同募金の助成金によって行われています。たくさんのご参加、ありがとうございました。



福まちセンター委員会 委員長 塩崎典男

た。芸森地区の老人人口（65歳以上）は、28.7%。また、芸森地区の持ち家の割合が85%近くで、老人人口の割合が全市平均より高めであること。また、要介護認定者の原因疾患では、74歳未満では脳血管疾患が2割を占め、75歳以上では悪性新生物（がん）が多い。特に74歳以下の年代で、3割近い人が関節疾患で認定を受けている。地区担当保険師は、支援を要する人を訪問するなど、安心して生活できるよう支援している。

地域包括支援センターは、介護や福祉に関する相談に応じ、高齢者の権利を守るための取組み、要支援認定者が自立した生活が送れるように支援している。

介護予防センターは、介護保険法に基づく行政からの委託事業で、総合的な相談支援・介護予防の普及・啓発をしている。

3回目の今回の推進員研修会は、関係機関と各町内で活躍されている推進員との連携強化を図り、日常の活動に結び付けられるようにと思っています。

もりの仲間の子育てサロン

子育て支援部長 三上 良子

毎月第1・第3水曜日に実施するサロンは、子供たちとお母さんたちの交流の場として、元気な声が響いています。二人目三人目と、ベテランのお母さんは余裕の子育てです。『二人目です』と参加してくださるお母さんからは○○ちゃんの元気な様子を聞かせてもらっています。

9月には5月に植えたじゃがいもの収穫を楽しみました。

8月からは帰りの時間の5分前を紙芝居の時間にしました。子供たちの目が輝き、お行儀の良いのに驚きました。

季節に合わせた行事を組んでいます。12月17日(水)はクリスマス会です。親子の時間、大いに楽しんでください。サロンを気軽に活用してください。

サロン会場 芸術の森地区福祉のまち推進センター（南老人福祉センター内）



高齢化社会に備えた「福祉講演会」

老化は避けられないが遅らせることはできる

芸術の森地区社会福祉協議会 広報部長 馬 場 宏

芸術の森地区社会福祉協議会・芸術の森地区福まち推進センターの恒例行事である「講演会」を去る10月25日、芸術の森地区会館で開催しました。

北海学園大学名誉教授 竹田 憲司先生を講師にお招きしました。先生の専攻はトレーニング科学・健康科学で、著書に「健康体力づくりのスポーツ科学」「中高年のフィットネス ダラーウォーキング」などがあります。

急速に進行する高齢化社会に備えてのお話でした。『歩くにしてもダラダラ歩くのではなく、意識して普段よりちょっと勢いをつける』ことが大事だそうです。

高齢者のフィットネス（健康体力）とは

- 1) 日常生活を滞りなく行うことができ、人生を楽しみ、危急の際などに身体を守る余力が残っている状態。
- 2) 活力に満ちた精神を維持向上すること即ち、動くことを中心にした良好な生活が人生後半を健やかに過ごす決め手となる。（老化は遅らせることはできる。はっきりしていることは身体を動かすこと）

3) 人生後半を健やかに過ごすために必要なことは、運動（歩くなど）知的活動（読書など）社会的活動（社会奉仕）情緒的側面（折にふれて起る様々な思い）を大事にすること。

4) やれることはどんどんやっていく、増やしていくこと。使わなかったら減るのは体力です。例えば、①やることを増やす②誘われれば断らない③恋をすること、が考えられます。

5) 体力を維持するためには、食と栄養のバランスを常に考えること。運動することによって良く眠れ、活力が復活します。ということでした。54名参加。



千歳市「ふくろうの園を見てきました」

高齢者支援部長 永川 陽子

10月24日(金)秋晴れの下、社会福祉研修会を行いました。今回は、千歳市にある「ふくろうの園」を研修させていただきました。39名の参加で2班に分かれて説明をしてもらいました。年々質問が多くなり、関心の高さがうかがえます。「自然災害の時は、どのように避難するのか」とか「入所費用はどのくらいかかるのか」とか「夜は何人で見ているのか」と多くの質問があり、答えていただきました。8月にできたばかりの「ふくろうの園」は、一部屋が

約10畳もあり大変広く感じました。すべてが個室で、ベッドやタンスや小さなソファーも設置されていました。5・6階は地域密着型で、千歳市内に住んでいないと入所できないのですが、4階以下は、千歳市以外でも入所できるそうです。窓からの景色も素晴らしい、デイケアサービスもしている大きな施設でした。その後、キリンビーアパークで工場見学をしました。

見守り活動用ベストの活用を

福まちセンター委員会委員長 塩崎 典男

芸術の森地区福祉のまち推進センターは、発足して6年目を迎えました。地区全体で13の町内会がありますが、そのうち5町内会で福祉推進委員会が組織されています。

特に昨年度から見守り活動を中心に、福祉マップの整備など、各町内の独居世帯や要援護世帯の把握、福祉活動の

充実の一助になればと、見守りパトロール用のベストを福まちセンターで、50着購入しました。各町内で見守り活動はもちろん、各種イベント等で着用して頂ければと思っています。



第一交通産業グループ

タクシーのご用命は… 配車指令室

☎ (011) 811-5151 / ☎ 0120-4168-41
フリーダイヤル

RARAカードポイント・JALマイレージたまります

☆ 福祉除雪サービスのご案内 ☆

例年、地域の支えあいとして札幌市社会福祉協議会、札幌市が実施の「福祉除雪」は、地域の協力員の方々のご協力により実施する事業で、申し込み等は、芸術の森地区社会福祉協議会（電話：592-7144）が窓口となっており、概要は、以下のとあります。

本年度の申込みは、10月27日現在、南区は、616件（605件）で、この内、芸術の森地区が49件（48件）あり、地域協力員33名（32名）により行われます。

※（ ）の数字は、25年度

(1) 利用対象者

道路に面している1戸建て住宅に居住し、約500m以内に除雪を援助できる子又は配偶者が居住していない世帯、自力で除雪が困難と認められる世帯

- ① 70歳以上で、構成されている世帯。
- ② 重度（1・2級）の身体障害のある方のみ構成されている世帯。
- ③ 70歳以上の方と重度の身体障害のある方のみ構成されている世帯
- ④ 区社会福祉協議会が特に認める世帯。

(2) 除雪内容

間口部分（道路に面した出入り口部分）を概ね幅1.5m、敷地内は玄関先までの通路部分を歩行に支障のない80cm程度の幅を除雪。

(3) 除雪日時

道路除雪の行われた日の午前中。

(4) 除雪期間

平成26年12月1日(月)～平成27年3月25日(水)



☆ 福祉除雪 ☆ 協力員の募集

福祉除雪に協力していただける「地域協力員」の募集は、南区社会福祉協議会（電話：582-2415）で行っております。（申込み用紙は、別途）

なお、性別、年齢は、問いませんが、健康に自信のある方で、ボランティア活動にご協力いただける方は、是非、お申込み（ご協力）ください。



平成26年度 雪あかりの祭典・日程

芸術の森地区「雪あかりの祭典」は、9年目を迎えます。11月18日に実行委員会を行い、日程が決まりましたのでお知らせいたします。

1. 芸術の森周辺：1月31日(土)

- ・芸術の森 ・札幌市立大学 ・関口雄輝記念美術館
- ・常盤児童会館
- ・まちづくりセンター：2月8日(日)

2. 石山緑地：2月7日(土)～8日(日)

- ・南老人福祉センター、見晴町内会

3. 駒岡地区

- ・駒岡小学校：1月29日(木)～30日(金)
- ・保養センター駒岡：2月11日(水・祝)

4. イルミネーション点灯：12月上旬～2月中旬

チラシ、ポスターを用意しますので、出来次第回覧等いたします。



—くつろぎの宿— 駒岡 札幌市保養センター

宿泊、休憩、入浴、パークゴルフ
レストランなど低料金でご利用
いただけます。

お気軽ににお越しください。



※無料送迎バスあり
札幌市内 1ヶ所のみ
(10名様以上・要予約)

(写真はイメージです)

季節膳

12月～2月

1泊2食 ¥6,750～

※2名様以上無料送迎付
(札幌市内 1ヶ所、要予約)

入浴料金

- ・60才以上 小学生 300円～
- ・中学生以上 60才未満 400円～

宴会プラン

- ・日帰り 2,000円～
 - ・宿泊 5,000円～
- ※10名様以上より承ります。

TEL: 011-583-8553 FAX: 011-583-8574

札幌市南区真駒内600番地20

指定管理者 社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会

保養センター駒岡



検索

第4回 サマークリエーション開催

青少年育成委員会

青少年育成委員会は、7月26日(土)藤野のFu'sスノーエリアにおいて、小学生を対象としたサマークリエーションを、参加者38名で開催しました。

午前中は「しっぽ取りゲーム」で始まり、スノーエリアのスタッフ指導のもと、みんな必死に走り回り、とても盛り上がりました。

お昼はみんなでバーベキューを美味しく、お腹いっぱい食べました。

午後は雨のため室内での遊びとなりましたが、ストラックアウトや色々な遊具を使い楽しい時間を過ごしました。

最後は五右衛門風呂体験をして、1日のレクリエーションを無事終了しました。

来年も予定していますので、是非参加してください。



第20回 芸術の森地区運動会

体育部長 佐 藤 優 司

8月31日(日)石山東小学校に於いて、7地区対抗の運動会が、約300名の地域の皆様が参加され、快晴の中、楽しく競技が行われました。

小・中学生の徒競争に始まり、玉入れ・風船割り競技、そして当地区のオリジナル競技パークリングでは、1球打ったびに歓声が起きました。後半の競技の1升瓶物語そして百足競走では、各チーム逆転優勝を狙い、大接戦になりました。また、今回札幌市の町内会加入促進のため、ビデオ撮りがあり各チームから5~10名の皆さん、カメラの前でダンスを踊りました。この模様は編集され年末頃、テレビ、インターネット等で流されるそうです。楽しみですね。

総合優勝は、アートパーク町内会チームが初優勝でした。準優勝は、石山東町内会。3位は見晴八区町内会・滝真サンブライト町内会が同点でした。

今大会も、地域の皆様のご協力により、無事に終えることができました。誠にありがとうございます。また、石山東小学校の校長先生はじめ先生方のご協力もいただき感謝申し上げます。

来年は、常盤小学校に会場が移ります。1年後の再会を誓い大会を終えました。

交流「もちつき大会」のご案内

青少年育成委員会

幼児及び小学生と家族を対象とした恒例のもちつき大会を児童会館で開催します。

もちつき体験をし、お餅を食べながら交流を深めてみませんか。多数のご参加をお待ちしております。

なお、参加される方は、器及び箸をご持参ください。また駐車場が少ないので、乗り合わせや徒步などのご来場をお願いします。



日時 12月14日(日)

幼児と家族

10時30分~11時30分

小学生と家族

11時30分~13時

場所 常盤児童会館

主催 芸術の森地区青少年育成委員会

初心者スキー教室のご案内

青少年育成委員会

1月10日(土)、Fu'sスノーエリアにおいて、小学生の初心者を対象としたスキー教室を開催します。

初心者でも、最終的にリフトを使って、滑ることができ、自信をもって学校でのスキー授業に参加できますよ。

詳細は各小学校を通じてご案内しますので、参加をお待ちしております。



真駒内川改修工事進捗状況について

「真駒内川を考える会」 会長 関 口 明

真駒内川改修工事（真駒内一号橋－常盤一号橋間）は、平成17年（2005年）に始まり、早いもので9年目に入り、平成26年度で改修工事は終了予定で、次年度は管理道路補修です。

しかし9月10～11日の大洪水により、真駒内1号橋上流右岸、藻南学園橋左岸、常盤人道橋右岸に大量の土砂流失が発生、又土砂堆積部分も発生しました。このような状況下、平成26年10月6日真駒内川対策協議会「真駒内川を考える会」を開催しました。

1. 真駒内川流域河床低下検討会の経過説明
2. 工事の経過と今後の予定
3. 平成26年9月10～11日洪水による河道状況
4. 意見交換

今後の予定では平成23年9月2～6日の大雨に伴う出水による斜路工7基改修状況中、斜路工1の石山東側半分を優先、前述三か所の護岸補修及び土砂堆積部分は国の予算の関係もあり26～27年に分散、管理用道路は27年度の見通しです。

しかし完了には国の予算もあり、更に1～2年かかる予定です。

札幌建設管理部並びに工事業者には、当初の話し合いの見直しの再確認と要望及び説明会の都度、工事車両の安全の確保と土砂排出・道路の除雪・砂埃・泥等の衛生面に尚一層の気配りをお願い致しますので、該当地区の皆様には歩行、車の利用・駐車等にご注意頂くと共に、今後とも工事へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

永久に生きる。花と緑の明るい聖地

真駒内滝野霊園

住所:札幌市南区滝野2番地 ☎011-592-1223

～おめでとう～

○北海道社会貢献賞

<受賞者>

石 中 孝 行 氏

(9月7日)

○平成26年度 北海道共同募金会会長表彰

<受賞団体>

(9月4日)

常盤2区町内会

真駒内2団町内会

真駒内3団町内会

○札幌市自治振興功労者表彰

<受賞者>

(11月20日)

関 口 明 氏

編集後記

早いもので、今年も残すところ1ヶ月になりました。今年も日本列島は台風や突然の豪雨で、8月には広島県で多くの死傷者が、本道の礼文町でも死者が出ました。また、9月には本道の胆振地方、札幌南区にも部分的に大雨が降り、当芸術の森地区にも大雨警戒警報が出されました。土砂災害警戒区域もあることから、心配されましたが、床上浸水、車庫への土砂流入等はあったものの、幸い人的災害はなく胸をなでおろしたところです。これから冬に向かい災害が発生しないことを祈るばかりです。

文化祭・音楽祭が終わり、次に冬のイベントが待っています。各地域の「雪あかりの祭典」そして「さっぽろ雪まつり」。皆さんも札幌の冬を楽しんで下さい。

地区広報芸術の森 編集委員会

委員長 島田三千春	委員(監査) 馬場 宏
副委員長 三上 良子	委員 繁在家公恵
委員(会計) 火山 正己	

●墓参バス乗り場

平成25年4月1日から墓参バスの乗場が、地下鉄真駒内駅前にあるバスレーン中央バス③乗場に変更になっています。

■墓参バス出発時間 (4～11月末迄)

※12月～3月は①のみ

真駒内駅前発
Ⓐ 10:10 Ⓡ 12:10 Ⓢ 14:10

真駒内滝野霊園発
Ⓐ 11:30 Ⓡ 13:30 Ⓢ 15:30

墓参バス乗り場のご案内

地下鉄真駒内駅

墓参バス乗場

至市内

平岸街道

中央バス③

タクシー乗場

団地

旧墓参バス乗場

○
真駒内中学校
グラウンド